

今週（8月25日から8月29日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続きビッドサイドの調達ニーズが堅調に見られたため、出会いレートの水準は、0.475～0.478%程度で安定的に推移した。25日(月)、26日(火)、28日(木)には試し取りを実施する先もあった事から、付利金利を上回る水準での出会いも一部見られた。
ターム物に関しては、1W～3M程度の幅広い期間で引き合いが散見され、0.4%台後半から0.6%台前半で出会いが見られた。

日銀当座預金残高は、25日(月)に524兆円程度からスタートした。その後は財政資金の揚げによりやや減少したものの、28日(木)以降は、国債買入オペや財政資金の払いを受けて再び増加した結果、29日(金)には524兆円強での着地見込みとなり、週を通して小幅な変動に留まった。

●債券レボ市場

今週の債券レボGC O/N物は、0.38～0.50%で推移した。月末要因により28日(木)のT/Nこそレートが低下したものの、そのほかの日ではオファーが安定的に見られ、レートは高めの水準で推移した。
SC取引の個別銘柄では、2Y460～474回、5Y150～178回、10Y355～379回、20Y180～192回、30Y65～85回、40Y13～17回などで引き合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、全ゾーンが概ね横ばい圏での推移となった。
29日(金)に実施された3M物入札は、無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーでも、堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、不動産、食料品、電気・ガス業など複数の業態で大型発行が行われた。
市場発行残高は、28日までは概ね26兆円程度で推移する展開となった。
発行レートは、引き続き0.5%以上で推移し、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
8/25 (月)	42,807.82	1.615	147.41	0.477	0.493	5,240,300
8/26 (火)	42,394.40	1.620	147.70	0.478	0.490	5,237,400
8/27 (水)	42,520.27	1.625	147.52	0.478	0.489	5,235,000
8/28 (木)	42,828.79	1.615	147.30	0.478	0.432	5,240,100
8/29 (金)	42,718.47	1.600	146.85	0.477	0.490	5,236,700

来週（9月1日から9月5日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定		海外主要経済指標
9/1 (月)	4-6月期の法人企業統計調査季報(財務省 8:50)			New York祝日(Labor Day)
9/2 (火)	氷見野日銀副総裁 道東地域金融経済懇談会における挨拶 8月のマネタリーベース(日銀 8:50) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)	10Y 9/3発行 26,000億円		8月のISM製造業景況指数 7月の米建設支出 8月のユーロ圏消費者物価指数速報値
9/3 (水)	9月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)			米ページブック 7月の米製造業新規受注・出荷・在庫
9/4 (木)		30Y 9/5発行 7,000億円		7月の米貿易収支 8月のISM非製造業景況指数
9/5 (金)	7月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30) 7月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 8月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 7月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)	TDB3M 9/8発行 43,000億円		8月の米雇用統計 4-6月期のユーロ圏GDP確報値

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
9/1 (月) 日銀予想	600	▲ 19,900	▲ 19,300	成長基盤 国債補充	▲ 2,400 800		▲ 1,600	▲ 20,900	財政融資資金の回収 TDB3M発行▲43,000償還45,000 2Y発行▲26,000償還19,300
9/2 (火) 弊社予想	1,200	▲ 29,000	▲ 27,800				0	▲ 27,800	
9/3 (水) 弊社予想	1,000	▲ 26,000	▲ 25,000	共通担保	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 33,000	法人税・消費税、年金保険料揚げ 普通交付税払い 10Y発行▲26,000 交付税借入▲10,500期日12,500
9/4 (木) 弊社予想	500	0	500				0	500	
9/5 (金) 弊社予想	500	▲ 7,000	▲ 6,500				0	▲ 6,500	30Y発行▲7,000
週間合計	3,800	▲ 81,900	▲ 78,100	—	▲ 9,600	0	▲ 9,600	▲ 87,700	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれることから、レートは0.477%近辺での推移が予想される。債券レポ GC O/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、レートは0.45～0.50%程度の水準で推移することが予想される。短国市場は、5日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、月初発行にあたり、発行案件がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では、1日(月)に4-6月期の法人企業統計調査季報、2日(火)に氷見野日銀副総裁 道東地域金融経済懇談会における挨拶、5日(金)に7月の毎月勤労統計調査速報、海外では、2日(火)に8月のISM製造業景況指数、8月のユーロ圏消費者物価指数速報値、4日(木)に8月のISM非製造業景況指数、5日(金)に8月の米雇用統計、4-6月期のユーロ圏GDP確報値などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。